令和２年度 施政方針

はじめに

日南町は、日本の社会背景と町の現状、将来を考えると、「待ったなしの時期」を迎えているといえます。私はそのために、「補助人」「全員参加」「自立」というキーワードと、魅力を切り札に変えていくまちづくりを行っていきたいと考え、第６次日南町総合計画、第２期「まち・ひと・しごと創生日南町総合戦略」、そして行財政改革実施計画を策定し、日南町らしい目指すべき姿を構築します。そして「あるものを生かす」「あきらめない」という姿勢と、「すべて自分事として考える」ことが大切であり、町民の皆さんとともに推進していく必要があります。そのためにも、持続可能な未来都市ＳＤＧｓの目標達成を、各計画の目指すべき内容に連動する位置づけをしました。

町政運営の基本方針

～産業振興（しごと）～

〈農業振興について〉

将来農家数は減少していきます。農地の維持、所得向上に向けての「日南町の10年後の農業のあり方」について農業委員会を中心に検討しています。皆様の意見をいただきながら、若者が「スマート・魅力的・稼げる」と思える農業になるよう、新たな仕組みづくりを模索していきます。併せて現在の農業研修生制度においても、他の地域に勝る魅力ある制度となることが必要であり、見直しを進めます。

〈林業振興について〉

「林業成長産業化モデル事業」の着実な推進を図っていきます。「林業アカデミー」については、第１期生７人中、５人が日南町内で就職し、４月からの第２期生は７人です。２年目となった森林環境譲与税を財源として活用し、森林管理システム事業の進捗を図るとともに、行政管理分の事業化に向けて構築を図ります。

～町民が安心して暮らせる健康なまちづくり（まち）～

町民の皆さんのライフステージにおいて明るく健康な生活が送れる環境が重要であります。昨年、検診受診率を向上させるため、受診率80％を目標に据えました。その結果、胃がん検診は対前年比7.6％の伸びとなりました。これからも引き続き受診率向上について推進していきます。

〈医療分野について〉

地域住民に持続可能かつ的確な医療を提供するとともに、質の高い安定的な医療環境を確保するために日野郡の３つの公的医療機関がある３町および鳥取大学医学部附属病院で協議し、「日野郡の医療連携に係る基本協定」を３月23日に締結しました。

〈障がい者および高齢者福祉分野について〉

障がい者および高齢者福祉分野においては、一昨年障がい者グループホームが開所されました。また昨年には隣接に有料老人ホームも開所され、現在６人の方が利用されています。豪雨災害などが多発する近年の状況もあり、安全な場所に集まり住むという「住み替え」も状況によってはあり得るのではないかと考え、引き続き議論してまいります。

〈道路等交通インフラ分野について〉

昨年末に国土交通省より地域高規格道路江府三次線の鍵掛峠道路が２０２５年度（令和７年度）完成見込みと発表されました。また、国道改良として、河上バイパスの宮内側（蛇巻）が完成し、現在は河上側のⅡ期工事と宮内バイパス、福長バイパスも推進されており、早期完成を望むものです。通勤や物流への効果を期待するとともに、安心安全なインフラ整備に努めていきたいと思います。

〈Ｊ-クレジットについて〉

Ｊ-クレジットについては、好調に販売が推移しています。ＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）の考え方に、社会や環境への貢献が会社の価値向上につながるという時代が来たように感じています。民間企業とのご縁を大切にし、地域経済循環につなげていきたいと考えています。

〈ふるさと納税について〉

ふるさと納税寄附金ですが、取扱い窓口サイトを増やすなど取り組んでまいりました。今後は、関係のある企業に対して直接依頼していくなどの取り組みも加えていく予定としています。

～心豊かに生きる協働のまちづくり（ひと）～

〈婚活事業について〉

婚活事業や仲人報奨金制度、同窓会開催支援制度は引き続き事業展開し、今後もＰＲに努め情報発信していきます。

〈社会教育分野について〉

本年度から「ふるさと教育」高校生版を日野郡３町が連携して進めます。現在、小学校・中学校では「ふるさと教育」を実践しています。町内にある魅力的なもの、いわば「地域の宝」を自分の目で見て・体験し・感じて、地元の大人たちと関わりながら、「人が生きるのに必要なものとは何か」を若い世代から考えてもらえる取り組みとなっていると感じています。

〈学校教育分野について〉

学校のあり方について変革を求められている時期でもあります。学校現場、保護者や地域・教育委員会などすべての方の理解と協力を得て、「日南町義務教育のあり方」を検討する年にしたいと考えています。保育園の位置づけについて、教育との連続性から、組織のあり方も検討していきたいと考えています。子どもの未来に「生き抜く力」をつけていく、「学力」をつけていくことを、強化していかなければならないと考えています。本年度は、学校給食補助金として、日南産米購入費を補助とすることとしました。

結びに

日南町が誕生してから60年。幾多の困難も度々ありました。そのたびに町民が力を合わせてその壁を乗り越えてきました。

現在、日南町は少子化、人口減少による担い手不足という大きな局面に立たされており、この難題を乗り越えていかなければなりません。皆様と力を合わせて、町民が豊かさを実感し、誇れるまちづくりに全力で取り組み、次世代につなげてまいります。